

# 世界の一流研究者を招へい

本学では、様々な分野の第一線で活躍している研究者であり、かつ、教育者として優れた実績を有する人物を世界各国から「ゲストプロフェッサー」として招へいする事業を展開しています。各々のゲストプロフェッサーには、約1ヶ月の滞在期間中に、英語での特別講義やセミナー、および学生各自の研究内容に関する個別ディスカッションを実施していただいています。これらを通して受講生の知的好奇心を大いに刺激するとともに、本学で学ぶ学生が広く世界に目を向けるきっかけとなることをめざしています。

## ▽2018年度前期のゲストプロフェッサーはこちら▽

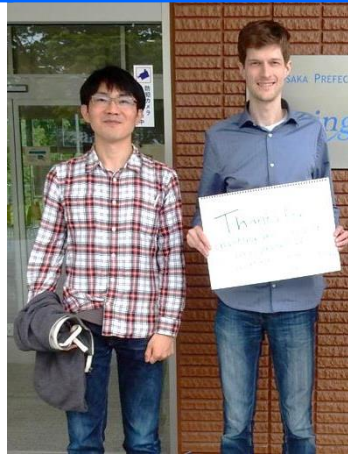
**Gardiner Professor Malcolm Kadodwala**  
(グラスゴー大学、イギリス)

**Senior Lecturer Martin Herschend**  
(ウプサラ大学、スウェーデン)



2018年4月  
〔専門領域〕  
Malcolm Kadodwala教授はキラルナノフォトニクスをもちいたバイオセンシングで世界的に著名な研究者です。光渦、ナノ磁性などキラル物質科学に関して、本学と共同研究を進められています。英語での特別講義やセミナー、および学生各自の研究内容に関する個別ディスカッションを実施していただき、国際的な素養を備えた人材の育成が期待できました。

左: Malcolm Kadodwala教授  
右: 戸川教授  
〔招へい部局〕  
工学研究科 電子物理工学分野  
(戸川欣彦 教授、石原一 教授)

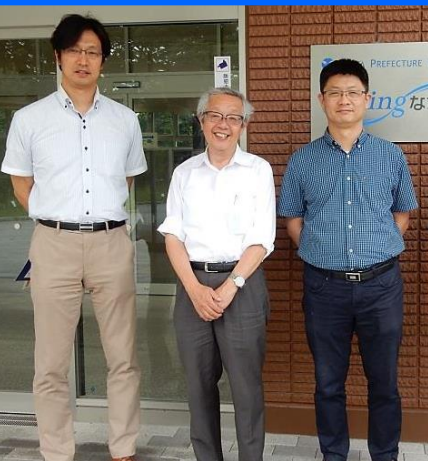


2018年4月  
〔専門領域〕  
Martin Herschend先生は数学の中でも多元環の表現論の専門家であり、特に高次Auslander-Reiten理論の主要な研究者の一人です。専門的な知識のない学生向けに、代数学の学び始めに格好の題材を講義いただきました。Herschend氏は具体例を分かり易く説明することに長けているので、学生が抽象的な理論に迷わず学習出来、大変有益な講義になったことと思います。

右: Martin Herschend准教授  
左: 源 准教授  
〔招へい部局〕  
情報数理学科  
(源泰幸 准教授)

**Professor 王 朝諺**  
(台湾中央研究院、台湾)

**Professor John E. Moore**  
(アルスター大学、イギリス)



2018年6月  
〔専門領域〕  
王教授は、遷移金属触媒を用いた分子変換反応開発の分野において、世界的に著名な研究者です。王教授は丁寧な指導で定評があり、学部生や大学院生への教育効果も大きいことが期待でき、授業・講義をしていただく他、「研究セミナー」にてご自身の研究成果を披露いただき、大学院生および教員との議論を行うことで学術交流を行っていただきました。

»写真左から  
神川教授、杉村教授、王教授  
〔招へい部局〕  
理学系研究科分子科学専攻



2018年7月  
〔専門領域〕  
Moore教授は、臨床微生物学や薬剤耐性菌に関する諸問題において造詣が深く、病院と大学の両方の教授を務められています。日本での招聘教授としての経験は何度もあり、学生に対して大きな教育効果が期待でき、講義のない時間に、学生が自由に訪問し話が出来る環境にも対応していただきました。講義のほかに、オープンセミナーを開催し、若手教員に対しても最新の情報を後援していただきました。

〔招へい部局〕  
生命環境科学研究科 獣医学専攻  
山崎伸二教授